

ウィーン放送交響楽団

Vienna Radio Symphony Orchestra

"音楽の都ウィーンが誇る、
ウィーン放送交響楽団が名曲を携え堂々の再来日！
優美な柔らかい音色を聴かせるオーケストラ、バーンスタイン、ペンデレツキ、ロストロ
ポーヴィチ、そしてサヴァリッシュ。数々の巨匠が育て上げた名門オーケストラをドウダ
メル、ネルソンスに続く新星マイスターが率いての来日公演！シュテファン・ヴラダーを
ソリストに迎え王道のドイツ・プログラムをお楽しみ下さい。

首席指揮者：
コルネリウス・マイスター



ピアノ：
シュテファン・ヴラダー



Program

ブラームス：悲劇的序曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

ブラームス：交響曲 第1番

特別協賛：株式会社 トエネック

2012 **3/8** (木) PM6:45開演 愛知県芸術劇場コンサートホール 主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業

S ¥13,000 A ¥10,000 B ¥8,000 C ¥6,000 学生 ¥3,000 (税込)

お問合せお申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333** ★WEBでも受付!★

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM9:30~PM5:30/土・日・祝日休業)

中京テレビ事業

<http://cte.jp>

チケット発売所

チケットぴあ (Pコード:149-001) 0570-02-9999

ローソンチケット (Lコード:45292) 0570-084-004

愛知芸術文化センターPG 052-972-0430

栄プレチケ92 052-953-0777

e+ (イープラス) :eplus.jp

中日サービスセンター 052-263-7282

セブン-イレブン店頭 他 有名プレイガイド

学生券
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。※出演者・プログラム内容等変更になる可能性がございます。予めご了承ください。

劇場に広がる瑞々しい音色!

音楽の都ウィーン特有の柔らかな空気感が生み出す鮮やかなメロディーを奏でる。

音楽の都、ウィーンに新しい風が吹いている——。ウィーンと言えば、もちろんウィーン・フィルハーモニー管弦楽団とウィーン国立オペラが音楽ファンの憧れだが、上昇機運にあふれたオーケストラへの関心が高まっている。優美でしなやかな音色、音楽が生命力をもって自発的に立ち上がっていくような音を奏でる「ウィーン放送交響楽団」である。黄金色の装飾もまばゆいウィーン学友協会とコンツェルトハウスというウィーンの2大コンサートホールでの定期シリーズは、世界一耳の肥えたウィーンの聴衆を虜にしており、以前にも増して人気を博している。

「ウィーン放送交響楽団」では、バーンスタイン、ペンデレツキ、ルトスワフスキなどの現代曲を作曲者本人が初演し、他にも

メニューイン、ロストロポーヴィチ、ギーレン、サヴァリッシュ、シフなどの名高い指揮者が共演。2010年からはウィーンで絶大な人気を得ているベルトラン・ドゥ・ビリーの後を受け、若き俊英コルネリウス・マイスターが主席指揮者に就任。ウィーンに新しい音色を奏でる新鋭として、音楽の都が熱い視線を注いでいる。

注目のマイスター率いる公演は、ベートーヴェン「英雄」(3月17日公演)、ブラームス「交響曲第1番」(3月18日公演)など、王道を行く曲目が並ぶ。瑞々しい音色で聴くと、一層それぞれの曲の本質が見えてくる。これらのレパートリーを新鋭のマイスターがどう料理するかが、最大の聴きどころ。作品を大きくとらえて聴衆を巻き込んでいく腕さばきに期待だ。



ウィーン放送交響楽団 Vienna Radio Symphony Orchestra

1969年にオーストリア国営放送交響楽団(ORF)として設立。この楽団のもとには、リゲティ、ペンデレツキ、ルトスワフスキ、チェルハといった前衛的な音楽家らが集った。1975年から首席指揮者がミラン・ホルヴァートからレイフ・セゲルスタムに引き継がれると、彼の指揮の下で現代音楽に加えてバロック音楽とロマン派の作品がレパートリーに加わった。さらに、その後のローター・ツァグロセクの下でオーケストラのレパートリーはさらに広がり、今日ではクラシックから現代音楽までがレパートリーに加わっている。



首席指揮者
コルネリウス・マイスター
Cornelius Meister

1980年生まれ。ピアノと指揮をザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学においてデニス・ラッセル・デイヴィスらに学び、欧米でコンサートを行った。2004年のバイロイト音楽祭では「バルシファル」の製作でピエール・ブーレーズのサポートをした。2005年からハイデルベルク市立劇場

首席指揮者に就任してその名を上げていった。29歳の時に来日し、新国立劇場にて「フィデリオ」を指揮したことで知られている。このようなマイスターの活躍は、彼の名をハイデルベルク市立劇場のみならず、ウィーン放送交響楽団の首席指揮者としても広めることとなる。2010年からウィーン放送交響楽団の首席指揮者として指揮台に立つ。



ピアノ
シュテファン・ヴラダー
Stefan Vladar

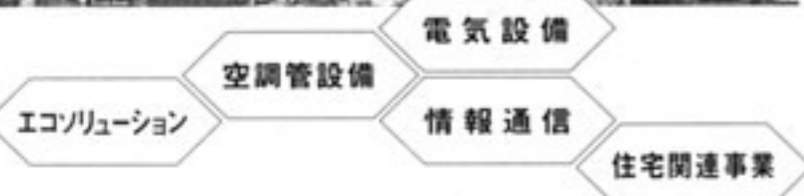
オーストリア出身。18歳でウィーンのエドゥアール・クニツェンヘドデビュー。1985年、史上最年少でウィーンのエドゥアール・クニツェン国際ピアノコンクールで優勝を飾る。これまでに、アバド、ドホナーニ、フェドセーエフ、小澤征爾、ティーレマン、ホルスト・シュタイン、ダニエル・ハーディングなど、錚々たる

指揮者のもとでウィーン・フィル、ウィーン交響楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、シカゴ交響楽団、トーンハレ管弦楽団、NHK交響楽団などと共演している。1990年にソニー・クラシカルと専属契約を結び、ソロや室内楽の他、協奏曲も多数レコーディングしている。

TOENEK

中部電力グループ

気持ちいい街には、「トーエネックくん」がいます。



快適づくりのプロフェッショナル 株式会社 トーエネック

本店/名古屋市中区栄1-20-31 〒460-0008 TEL.052-221-1111 <http://www.toenec.co.jp>